

令和6年9月吉日

理学療法士・作業療法士 各位

SJF 学会 関西支部
支部長 高橋裕児

**SJF 学会 関西支部
紹介講座開催のお知らせ**

拝啓

早秋の候、皆様におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

この3年間の Covid-19 の影響大きく、対面研修会は人が集まりにくくなっている昨今です。しかし、臨床に出れば知っておかなければならないことがあります。新人の理学療法士・作業療法士の皆様、日々の業務において医療チームの一員として、居場所があるでしょうか。診断には医師が、看護には看護師が、医療機器管理には臨床工学技士が専門性を発揮しています。我々には一体何ができるのでしょうか。臨床において、理学療法士および作業療法士は患者の運動、動作、活動について触れて治療する、改善するという専門性があります。ただ、運動する、ただ動作をするのでは治療的ではありません。どのように動かすことがより効率的、医療的(治療的)なのか、そして患者の訴える症状(症候)をどうとらえていけばよいのでしょうか。知っていなければならぬことをお話させていただきます。

本紹介講座に際し、関節ファシリテーション(SJF)学会会頭宇都宮初夫先生より、今の理学療法士・作業療法士、特に新人の方へお言葉をいただいています。

『使用する治療技術の理論的根拠となる基礎医学の進歩について、知っておくべきことについて紹介したいと考えています。現在養成校で教授されている解剖学、生理学、運動科学、病理学などいわゆる基礎医学は、今世紀になって目を見張るほどの進歩が見られています。運動にかかわる専門家としての PTOT にとって、この内容を臨床の技術に組み込まなければ、目的とする治療効果は得られないということが明白になってきました。運動に関係する神経(脳を含む)、筋、関節など、いわゆる「運動器」に関する臓器に対する見方が前世紀のものとは全く異なっています。関節に関しては Biotribology が、筋に関しては Muscle Biology、神経に関しては NDN, Silent afferent nerve などが考慮されなければ、患者の問題点は解決されないことが証明されました。今回の紹介講座で、これまでの基礎医学の不足および欠陥がなんであったかを明らかにして、これらの新しい基礎医学を取り入れた治療技術はどうなるかについて実技を交えて紹介します。』

テーマは『臨床において改善しなければならない治療技術』です。同じ職場の方にも広報の上、是非、お申し込みください。

敬具

記

1. 内容:【臨床において改善しなければならない治療技術】
2. 講師:宇都宮初夫先生(SJF 学会会頭、JM 研究所所長)
3. 日時:2024年10月20日(日)
9:30~17:00(受付 9:00~)

4. 対象:理学療法士、作業療法士(SJF 学会非会員・経験年数 5 年目以内を優先)
※このたびは紹介講座ですので、2024 年 8 月中止になった技術研修会にお申込みいただいた方の優先はこの度は無しとさせていただきます。
ご了承のほどよろしくお願いいたします。
5. 会場:大阪赤十字病院 3 階 リハビリテーション科
6. 定員:30 名(定員を超える場合は選考と致します)
※SJF 学会非会員を優先いたします、定員を超える場合 5 年目以内を優先いたします。
7. 受講費:無料
8. 申込方法
 - ①SJF 学会関西支部ホームページを開きます。
 - ②トップページより「研修会のお知らせ」ページに移動し、申し込みフォームよりご入力ください。
 - ③入力・送信後、自動返信メールが届きますので、返信内容に従ってご対応願います。
 - ④お申し込みだけでは受講決定とはなりません。受講決定者にはこちらから、受講登録メールを送信いたします。
9. 申込〆切 ホームページに申し込み Google フォーム立ち上げ後
～ 2024 年 10 月 13 日(日)まで
10. 注意事項
 - ①申し込みの際は、SJF 会員の方は必ず会員番号の入力をお願いいたします。
 - ②自動返信メールが届かない場合は、メールアドレスの入力ミスまたは受信設定に問題がある可能性があります。再度ご確認の上、お申し込みください。
11. お問い合わせ
ご不明な点がございましたら、下記 SJF 学会関西支部ホームページのお問い合わせよりご質問ください。

SJF 学会 関西支部ホームページ <http://sjf-kansai.com/>
以上